

11/25 ヤマメの稚魚を放流

菊池川漁業協同組合（富田正剛組合長）が、市内の菊池川や迫間川などの4河川で、ヤマメの稚魚の放流を行いました。この放流は、同組合が九州産廃（株）との協力により、水環境の保全と魚種の保護などを目的として行っているものです。

今回の放流には、迫水小学校の5・6年生16人が参加。児童たちは、「元気に大きく育てね」とヤマメの稚魚約400kg（約8,000匹）を放流しました。



菊池川上流でヤマメの稚魚を放流する迫水小学校の児童たち

11/24 熊本県職業能力訓練大会で市民3人が表彰されました

職業能力開発に関して功績のあった事業所、団体と個人を表彰する熊本県職業能力開発促進大会は熊本市で開催されました。本市からは増永洋さん（北原区）が熊本県職業能力協会会長表彰（認定職業訓練関係功労者）を、荒木新勝さん（玉祥寺区）と管義友さん（東迫間区）が熊本県知事表彰（優秀技能者）をそれぞれ受賞しました。受賞した3人は、「これからも自分の技術を高めながら、後進の育成に一層努力していきたい」と抱負を語りました。



表彰状を手にする3人。左から菅さん、受賞の報告を受けた永田副市長、荒木さん、増永さん

11/27 おいしいイベント・家庭料理大集合!水源食の文化祭

水源食の文化祭は、きくちふるさと水源交流館で開催されました。地域の食を見つめなおし、家庭料理にスポットを当てたこのイベントは今年で7回目を迎え、会場には56種類の家庭料理が色鮮やかに並びました。「行事食で綴る水源の一年」と題した展示、菊池の食材を使った「きらり弁当コンテスト」や「水源ばあばの料理教室」なども開催。ステージでは劇団に「やあ、樋口佳人さん、進藤久明さんのライブが行われました。会場に訪れた252人の参加者は、料理を味わいながら食の交流を行いました。



①「行事食で綴る水源の一年」の展示



②参加者はおいしい料理に舌鼓を打ちました

11/22 「第7回夫婦の手紙・絵手紙」表彰式

「第7回夫婦の手紙・絵手紙コンクール」の表彰式が、「良い夫婦の日」に菊池夢美術館で行われました。このコンクールは「おしどり夫婦の里」、「妻（女性）を大切にすまち」である本市のイメージづくりの一環として、平成17年から始めたもので、全国各地から手紙の部に56点、絵手紙の部に407点の応募がありました。表彰式は終始和やかな雰囲気で行われ、滋賀県高島市から出席された夫婦の手紙最優秀賞の伊藤正江さんほか32人の入賞者全員に、賞状と副賞が手渡されました。受賞者は、表彰式終了後に市民広場で開催された「ほの宵まつり」のフィナーレイベントにも参加。竹灯籠への点火や菊池の新名物「地具鍋」を味わいながら、菊池の夜を満喫していました。



「ほの宵まつり」フィナーレイベントでは竹で作った椅子が登場（左）／夫婦で仲良く点灯しました（右）



表彰を受ける伊藤さん



夫婦の絵手紙最優秀賞作品（佐間みどりさん）



夫婦の手紙大賞作品（久保寺重信さん）

11/22 第一幼稚園の園児たちが牧場でふれあい体験

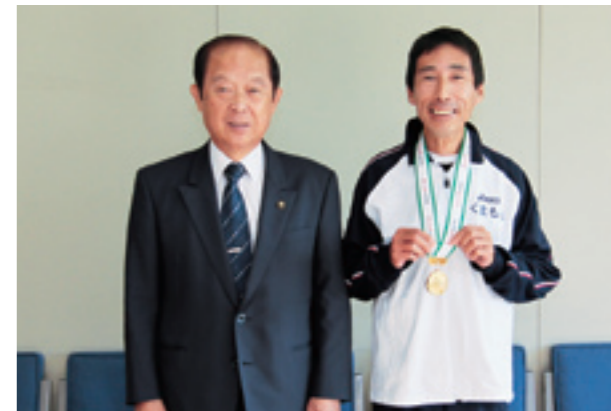
旭志にある岩根孝明さんの牧場で、第一幼稚園の園児たちが牛や山羊とのふれあいを楽しみました。この牧場体験は、動物を身近に感じ、食べることへの感謝の気持ちを育んでもらおうと行われているものです。園児たちは、生まれたばかりの子牛を見たり、牛やポニーに餌を与えたりして、動物たちとふれあいました。参加した園児たちは、「初めて牛に触ったけど、ふわふわしていた」、「怖かったけど、楽しかった」などと話し、笑顔を見せました。



牛に餌を与える第一幼稚園の園児たち

11/22 さかいゆきお 酒井幸男さんが全国障害者スポーツ大会で金メダルを獲得

山口県で10月に開かれた第11回全国障害者スポーツ大会で、県代表として出場し金メダルを獲得した本市在住の酒井幸男さんが、福村市長に成績を報告しました。酒井さんは今回、走り幅跳びとソフトボール投げに出場し、走り幅跳びで見事金メダルを獲得。今大会で自身の通算メダル獲得数を8個に伸ばしました。酒井さんは、「たくさんの人のサポートと応援で頑張ることができた。来年も出場できるように頑張りたい」と決意を述べました。



金メダルを手にする酒井さん